創立１５０周年記念号

やなぎ

塩川小学校父母と教師の会会報

―特別号―
発行所
塩川小ＰＴＡ
発行責任者
会長　二階堂　純
編集
広報委員会

校歌

作詞　佐々木信綱
作曲　近衛　秀麿

一　空にそばだつ磐梯の
嶺にたぐえんわれらの理想
力を培いいざやともに
祖国日本を新たに興さん
われらわれらの塩川小学校

二　雪をいただく飯豊山
高くたもたんわれらの希望
歌声あわせていざやともに
文化日本のいしずえ築かん
われらわれらの塩川小学校

三　流れさやけき日橋の
水にみがかんわれらの心
いそしみはげみていざやともに
平和日本のあけぼの迎えん
われらわれらの塩川小学校

こんな立派な方に校歌を作っていただいています！

教務主任　新妻　宏

今年、創立百五十周年を迎える塩川小学校は、社会に貢献する人物を数多く輩出してきました。その学校の校歌は、美しい旋律に彩られていますが、皆さんはその作曲者をご存じでしょうか。

近衛秀麿（このえ　ひでまろ）がその人です。私は本校に赴任したその日、掲示されている校歌の作曲者名を見て、強い衝撃を受けました。ご存じない方にも、本校の校歌がどのような人物によって作曲されたのかを知って頂きたく、ここに紹介したいと思います。

近衛秀麿は、明治三十一年に生まれ昭和四十七年に亡くなった、指揮者であり作曲家でもある音楽家でした。戦前にはヨーロッパで超一流の指揮者達に学び、トップレベルのオーケストラで指揮もしました。日本で初めてモーツァルトやベートーヴェンの交響曲を指揮し、音楽教育の中核を担う等、その功績は極めて大きなものです。

このような人物が校歌の作曲者であることは、実に誇らしいことです。

なお、作詞者の佐々木信綱も「日本の歌百選」に選出された名曲「夏は来ぬ」の作詞者であることも申し添えておきます。

なぜ、このような偉大な方々に作詞作曲していただけたのか、その経緯は不明です。もしご存じの方がいらっしゃいましたら情報をお寄せください。

百五十歳おめでとう！★大好き塩川小★

一年　遠藤　そうし

ぼくは、きゅうしょくがすきです。まい日、きゅうしょくのせんせいがえいようをかんがえておいしくつくってくれます。だからのこさずたべます。

一年　佐藤　ほのか

しお川小のすきなところは、あいさつうんどうです。あさからみんながあいさつしているところがすきだからです。げんきが出ます。

一年　大竹　しおり

グラウンドの大きなまつの木にはりっぱなかみさまがいるような気がした。学校のとしとおなじらしい。これからもわたしたちをよろしくね。

キラリ塩小デー　２年生の発表

二年　森髙　ゆあ

楽しいぎょうじがいっぱいあって、しお川小学校が大すきです。みんなできょう力しているから、いろんなことにやる気がわいてきます。

二年　後藤　ひおり

わたしは休み時間がすきです。友だちと話したり、あそんだり、本をかりたりできるからです。楽しい毎日を、しお川小ですごしています。

三年　篠竹　実来

しお川小学校百五十周年おめでとうございます。学校を百五十年ささえてくれてありがとう。

一年生から三年生の今日までいろいろなべん強をしたり、友だちと楽しく遊んだりできたのも学校があるおかげです。いつも私たちを見守ってくれて本当にありがとう。これからもずっと元気でいてね。そして私たちの成長を見守っていてください。

四年　小林　優咲

わたしの大好きな塩川小学校の良いところをしょうかいします。

一つ目は、みんな仲が良いということです。休み時間に友達といっしょにいると幸せな気持ちになります。

二つ目は、給食がとってもおいしいことです。わたしの一番のおすすめは、ココアあげパンです。

大好きな塩川小学校をこれからもみんなで大切にしていきます。

五年　小田切　ひまり

私は、この塩川小でほこれるものが二つあります。一つ目は、鼓笛や祭りばやしです。特に祭りばやしは、他の学校でも取り組んでいない塩小独自のものだと知り、驚きました。六年生が、五年生一人一人に教え引き継いでいくこの形がずっと続いています。今、私たちも教えていただきながら、練習をしています。

二つ目は、給食です。塩小の給食は、給食の先生方が手作りでおいしく作ってくださっています。給食の時間がとても楽しみです、

百五十才の誕生日をむかえた私たちの塩小『おめでとう！』

今年度の運動会のスローガン

六年　佐藤　弥呂琥

塩川小学校、百五十才おめでとうございます。百五十年もの歴史があり、卒業生がたくさんいて、とてもすごいことだと思います。きっと、塩川小もうれしいですよね。

ぼくももうすぐ、塩川小の卒業生の一員になります。ぼくは、塩川小で楽しい思い出がたくさんできました。それは、百五十年分の卒業生が、しっかり伝統を引き継いでくれたからだと思います。だからぼくも、下級生に伝統を引き継ぐために、上級生としてお手本を見せたいです。下級生にもがんばってほしいです。

百五十年間ありがとう。

編集後記

教頭　讃岐　吉隆

「地域の皆様に愛されて　塩川小学校創立百五十周年」同窓会様には横断幕を作成していただき、地域の方にお知らせができました。また航空写真撮影を行い、校舎の写真や児童の写真をクリアファイルとしてお配りすることができそうです。運動会やキラリ学習発表会も、子どもたちの演技を通して塩川小の百五十周年をしっかりお祝いできました。この記念号も、たくさんの方々に支えられ感謝の気持ちでいっぱいです。

この記念誌はホームページにも掲載されますので、こちらもぜひご覧ください。